

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。旧年中は各部長さんを先頭に、種々行事をとり行つて参りました。皆様いかがだったでしょうか。残念ながら、天候の関係で百パーセントとはいきませんでしたが、花壇を始め各種スポーツ、見学会等、それなりの行事を立派に消化して参りました。これも皆様の御援助の賜物と深く感謝申し上げます。それにしても昨年は激動の年でした。大地震あり、物凄しい宗教あり、氷のよくな不況あり、多難の年とはこのことを言うのでしょうか。

今年も、町内の皆様方の御協力、御指導をいただきながら明るく楽しい町づくり而努力してまいります。

大代五区連合会
会長 東海林聡悟

「新年を迎えて」

新年を迎え心からお祝い申し上げます。水平線を真っ赤に染めて元旦に昇る太陽は、ことさら素晴らしく感じられます。

静かな平和な春を御家族団欒のうちに迎えられ、皆様それぞれに今年も健康で暮らしたい、今年こそは念願を成就したい等、夢多い年でありましょう。しかし、不安定な政治、社会情勢や景気低迷等気のめいることが多い昨今ですが、最後の頼りは健康な身体が一番だと思えます。

今年も、町内の皆様方の御協力、御指導をいただきながら明るく楽しい町づくり而努力してまいります。

大代五区連合会
会長 東海林聡悟

《初詣で》

明けましておめでとうございます。平成八年の輝かしい新春を迎えられ、多くの方々には新年の抱負を胸いっぱい秘めてお屠蘇を酌み交わしながら、正月を祝っていることと思います。

日本では古くから初詣での習わしがあり、江戸時代の中頃までは、おもに武家や商家などの人たちが行っていたようです。爾来、初詣では一般の人たちのなかでも行なうようになり、家内安全、無病息災、商売繁昌等々、時代と共に参詣者が年々増えて、文明の進んだ現世では、願い事が多くなったのか、益々盛んになり、神社や仏閣の境内が混雑するまでになりました。

このように参詣者が多くなったのは、普段、神仏には余り関心のない人でも正月に気分を一新して、一年間の無事を祈ることが、それなりの意味があったからだと考えられます。私も数十年来、初詣では欠かさずに続けている一人です。

昨年は年の始めから阪神地区が史上稀にみる大震災に見舞われて、被災地の方々には地獄のような思いをしたことでしょう。もし、私たちの街だったら、と想像しただけでも胸が痛くなります。でも、この一年間、被災者の懸命な努力と、関係機関、各種団体等のためまぬ救援、救済活動によって、なんとか復興の兆しが見えるようになりました。

この大災害で日本中がダメージを受けているところに、オウムに関わる数々のショッキングな事件、しかも、残忍非道な組織ぐるみの殺人犯罪、許すことのできない所行です。

警察と検察当局の大変な努力によって捜査の方も着々と進んでおりますが、解決するまでにはまだ時間がかかりそうです。昨年はほんとうに恐くて長い一年でした。

今年はこのような災害や、凶悪な犯罪が起らないように、是非、初詣でに出掛けて、我が家の安全と日本国の

無事を祈ってみてはどうでしょうか。

大代西 高橋傳廣



【短歌】

大代中 櫻井陽子

この年も無事にのりきりる願いこめ
正月はじめの誕生日を祝う

行きたびに小さくなりゆく母の背を
ザアーツと流して涙をぬぐう
なんとというあたたかなのかこの枯草は
老母とねころぶ陽だまり嬉し

【川柳】

阿部うめよ

火の恐さ身ぶるいを知る大震災
本郷ひさ
落葉焚き子らの数だけ入れる辛
星 繁子
漆黒の闇に厳か薪木能
工藤伊代
新食糧法百姓追いうちかけられる
佐藤秀子
家計簿の赤字ボーナス消火する
鈴木絹子
世の中の電化時代で火を忘れ
高橋 操
頬に触れた風花が舞う歳の市

御祝儀 お見舞いは

三千元を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい あいさつしましよう出あった人と あいさつしましよう

学ぶしつけ

欧米の親たちは、豊さの中での子育てに慣れているように見える。子どもを甘やかして、ダメにしないため生活の知恵が豊さの彼らにはあるようだ。

イギリスのパブリックスクールは、上流階級の子弟のための全寮制の中等学校として知られている。上流の家庭では恵まれた環境もあって、子どもに甘くならざるを得ない。そうした弊害を防ぐために寮に入れて親の保護から子どもを離し、粗末な食事と厳しい生活環境の下で勉強させる。朝晩二切れパンだけの食事と夏冬通して毛布二枚だけのぎりぎりの耐乏生活を強いる修練の場である。窓ガラスなどない吹きさらしの部屋には、冬など雪が容赦なく降り積もることもあるそうだ。風呂に入る代わりに週一回洗面器一杯のお湯が支給される。それで身体を拭くのであるという。

こうした厳しい生活を経験した後、彼らは紳士として大人の仲間入りが許されるのだという。戦後五十年、豊かさにおぼれ自立できない者が増えているように思われる。

大代東 本郷新治

—広島行—

原爆が落ちて五十年、初めて原爆の碑、原爆の乙女の像を拝むことができ

た。その前にうづ高く積まれた千羽鶴、その数何十万羽という。色々の言葉の書かれた短冊がそえてある。その殆どが高校の名前。

動員された幾多の中学校生が犠牲になったのであるからなのであろう。その傍を流れる川は火傷を負った人で埋まったという。未だに遺骨が出てくるそうである。年のせいかな涙をこらえることができなかつた。

昭和十七年たまたま広島行軍でたつた一度市内見物をしたのだが、案内してくれた市内在住の戦友は、原爆ドームを中心に、このあたりと手をぐるつとまわして殆ど焼野原だつたと言っていた。今は美しい公園になり、お参りの人達で賑わっている。それにしても未だに原爆実験をやる国があるのだから恐ろしいものだ。

私等は今もう良いとしても、嬉々として遊ぶ孫達を見ていると、平和な世界であればと願うばかりである。

大代南 跡辺三夫

六十路の悟り

『身体発腫是父母に受く、敢えて毀傷せざるは孝の始めなり』と古いと笑われるかも知れないが、読んで字の如く解釈し納得したつもりで過ごしてきたが、六十路を過ぎた頃からあつちこつちと体にガタが来て、今年小さな

手術をする破目になった。人生の終日をまわりに迷惑を掛けないようにと度胸を決め迎えた手術だったが、術後の苦痛は大変だった。周囲の人に聞けばそんなことは序の口で三日我慢すればよいとのことだったが、痛み止めも制限があり我慢すれば血圧が上がって看護婦さんの慌てる音を聞き、無事に帰れるのだろうかと不安におそわれた。

そんな中で、ふと頭をよぎったのが「仇の子にもこんな苦痛はさせたくない」と。まして吾が子においてをや！誰か云ったのか知らないが、かの格言の極意を悟ったような気がした。子供にはそんな苦痛はさせたくないし心から思うのが親心で、そんな心配を掛けないのが真の親孝行なのだろうと。大きな病氣はしなかったが、昨年他界した母が死のまぎわまで私の足を心配し「死ぬまで歩けよ」と云った心情が思われ、母に不幸を詫言した。

今の私の課題は、体重を減らし足に負担をかけないことと、ダイエットに努力はしているが天高く馬肥ゆる秋、本音と立てまえは並行せず難航している昨今である。恵まれ過ぎる当世を各自が自己管理をし、健康であれば家庭も安心、国の保険事業も黒字になるといふもので「健全な心は健康な体に宿る」といわれますので、皆さん健康づくり頑張りましょう。

大代南 星 繁子

大代ゴルフ

愛媛県知事△△△△△

十一月二十六日今年度の納会が行われました。場所は松島チサン仙台コース。曇り空でしたが、割合暖かく先ずは絶好のコンディション。栄えある優勝は大代南の熱海五郎さん。グロス九十二、見事なものでした。表彰式は五時半より小野屋さんで、カラオケ等で湧きに湧きました。 愛好会幹事

広島行

〇〇〇〇の初春を皆様にはお健やかに迎えのことと存じます。

大代地区コミュニティの広報紙「ふれあい」として発刊して今月号で百十八号をお送りすることになり、早や十年を経過しようとしております。この間、地域の皆様から数多くのご寄稿をいただき厚くお礼申し上げます。

今年も大代の皆様の声のふれあいとして、皆様のご投稿をお待ちしております。内容は、家族のコミュニケーション、地区のサークル活動、故郷の思い出、茶の間の小話等どんなことでも結構ですので紙面を賑やかにして下さい。

なお、投稿についてのお問い合わせは、大代地区公民館にお尋ね下さい。